

(一社)全国農協観光協会 が取り組む

受入地域の体制整備支援プログラム

ワーケーション等新たなニーズやインバウンド、教育旅行等の受入を含めた農山漁村滞在型旅行に、ビジネスとして取り組みたいとお考えの受入地域の皆様に対して、本会はその実現に向けた支援プログラムをご提供しています。

農泊を中心に、地域活性化に繋がるプログラムを多数ご用意しておりますので、ぜひご検討ください。

地域支援プログラム リスト 2021年10月現在:諸事情により変更の可能性がございます。

No	分野	テーマ
1	体制整備	ヒアリング調査 実地踏査編
2	体制整備	地域資源調査 実地踏査編
3	体制整備	農泊セミナーの開催
4	体制整備	安全管理研修 基礎編
5	体制整備	安全管理研修 応用編
6	体制整備	安全管理マニュアル簡易版制作
7	体制整備	農業体験ガイド(インストラクター)研修
8	体制整備	感染症対策等研修会(ガイドラインの活用と事例紹介)
9	体制整備	事業計画策定研修
10	遊休資産活用	農家民宿・民泊開業・受入研修
11	コンテンツ支援	コンテンツ開発研修(地域資源発掘編)
12	コンテンツ支援	コンテンツ開発研修(体験メニュー開発編)
13	コンテンツ支援	コンテンツ開発研修(ターゲット別滞在プログラム開発編)
14	コンテンツ支援	コンテンツ開発研修(モニターツアー編)
15	コンテンツ支援	教育旅行向けプログラム開発研修
16	コンテンツ支援	法人旅行向けプログラム開発研修
17	コンテンツ支援	関係人口づくりとしての婚活プログラム研修
18	6次化支援	6次化 商品開発・マーケティング・プロモーション
19	6次化支援	フードダイバーシティ研修・メニュー開発
20	インバウンド支援	訪日外国人向けプログラム開発研修
21	インバウンド支援	訪日外国人へのホスピタリティサービス
22	インバウンド支援	外国人旅行者おもてなし研修・接客ロールプレイング
23	情報発信	ファムトリップ実施
24	情報発信	ICT・SNS活用研修
25	情報発信	情報発信ツール作成
26	総合支援	専門家派遣

- 様々な団体と連携し、事業を推進していきたい
- 有効的な連携・活動方法をより明確にしていきたい

①ヒアリング調査 実地踏査編

農山漁村地域への誘客活動をより強固なものにする上で重要なことは、地域の多様なプレイヤーが一丸となって受入体制を整備していくことです。

この調査では、活動を行う上で事業連携が必要とされる団体を訪問し、事業の趣旨説明を行い、この事業への理解を求めると共に、各団体が行っている「観光等による農山漁村の地域振興に資する取組み」についての現状を把握することで、より有効的な事業推進展開策を検討していくために実施いたします。

所要時間	2～3日程度
金額	応相談
対象	事業推進にて、連携が必要とされる団体等
内容	(1) 調査対象団体等の選定 (2) 事前打合せ (3) 実地踏査 (4) 調査報告書の作成 (5) 今後の事業推進に向けた施策提案
成果	調査終了後には、連携団体の活動状況と連携方法がより明確になります。
注記	同調査は、地域内連携をより強めるために行うものであり、事業実施団体の同行が必要不可欠です。単独での実施はお受けかねます。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 地域の隠れた観光資源を見つけたい
- 地域資源を継続的に実施する方法を知りたい

②地域資源調査 実地踏査編

受入地域に多くの旅行者を呼び込むために、受入地域は地域資源を発掘し、これを魅力ある観光コンテンツとして磨き上げることが求められています。

この調査では、隠れた地域資源に光を当てるため、地域に埋もれる地域資源に着目し、それらを実地踏査を通じて、資源を整理することで、体験プログラム化・滞在型プラン化に繋げていくことを目的に実施いたします。

実施(イメージ)



所要時間	2～3日程度
金額	応相談
対象	貴地域に埋もれる地域資源
内容	(1) 調査対象資源の選定 (2) 事前打合せ (3) 実地踏査 (4) 調査報告書の作成 (5) モデルプランの提案
成果	実地踏査終了後には、地域資源を活用した「モデルプラン」が出来上がります。
注記	• 地域資源の発掘は、1回の調査だけで完成するわけではありません。継続的に、地域内で同様の調査を自主的に実施することによって、地域の観光資源を豊かにすることが望めます。 • 同調査は地域の皆様が日々行うことが重要であるため、事業担当者の同行をお勧めします。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 受入中の事故を未然に防ぎたい
- 事故や受入時のマナーに関する関係者の意識を高めたい

④安全管理研修 基礎編

農山漁村滞在型旅行において、お客様の安全確保は何よりも優先されるべき事項です。

この研修では、最も安全管理が難しい子ども達の受入を題材として、過去に起きた事故の事例や裁判の事例等をご紹介しますながら、安全管理の重要性について理解を深めます。

また、安全管理の最初のステップとして、リスクの洗い出しからリスクへの対応について、ワークショップを通じて、これらの手法を習得します。

ワークショップ(イメージ)



所要時間	合計3時間(途中15分の休憩を含む)
金額	応相談
対象人数	10人～30人 受入地域のリーダーから受入農家まで、受入に係わる全ての人にとって有益です。
内容	(1) リスクマネジメントとは何か (2) 事故事例から学ぶリスクマネジメント (3) ワークショップ ー リスクの洗い出し ー リスク対策の検討
研修資料	• 事故事例集
研修成果	研修受講者は次の理解が深まります。 • リスクマネジメントの必要性 • リスクマネジメントの一般的な方法 • リスクの洗い出しの方法 • リスク対策の検討方法
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 旅行会社が安心して送り出せる安全管理体制を作りたい
- どんな安全管理マニュアルを作ればいいのか分からない

⑤安全管理研修 応用編

農山漁村滞在型旅行の受入数を増やしていくためには、旅行会社との連携は不可欠です。しかし、旅行会社は安全安心な受入体制がある地域を旅行者の皆様を紹介したいものです。では、受入地域はどんな体制を整備すれば、旅行会社に紹介してもらえるのでしょうか。

この研修では、受入地域として備えておくべき安全管理体制として、安全管理マニュアルと保険に焦点を絞って理解を深めます。

なお、この研修は受入地域の体制作りについて説明します。受入団体の代表者や事務局等、受入の中心となる方々に受講していただきたい内容です。

所要時間	合計3時間(途中15分の休憩を含む)
金額	応相談
対象人数	10人～20人 受入地域の代表者や事務局等、受入の中心となる方々が対象
内容	(1) 安全管理マニュアルの必要性 (2) 安全管理マニュアル作成のポイント (3) 保険の掛け方
研修資料	- 安全管理マニュアル作成のポイントQ&A - グリーンツーリズムの保険について
研修成果	研修受講者は次の理解が深まります。 - 安全管理マニュアルの必要性 - 安全管理マニュアルに最低限含まれるべき情報 - グリーンツーリズム関連の保険に関する基礎知識
注記	基本編受講後に上級編に進まれることが望ましいです。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 受入中の事故を未然に防ぎたい
- 事故や受入時のマナーに関する関係者の意識を高めたい

⑥安全管理マニュアル簡易版作成

農山漁村滞在型旅行において、お客様の安全確保は何よりも優先されるべき事項です。

このマニュアルでは、受入に際して事前に確認するポイントを中心に冊子にまとめることで、受入関係者の安全管理に対する意識醸成を図ります。

また、マニュアルを制作することで、研修の題材とすることもできます。

マニュアル(イメージ)



金額	応相談
仕様	A4サイズ8ページフルカラー
内容	制作するにあたり、最低2回の打合せが必要となります。
掲載例	1ページ目…表紙
	2ページ目…安全管理の基本的な考え方
	3ページ目…体験プログラム提供時におけるチェックポイント
	4ページ目…宿泊の提供時におけるチェックポイント
	5ページ目…食事の提供時におけるチェックポイント
	6ページ目…個人情報・ハラスメントなどにおけるチェックポイント
	7ページ目…応急手当の例
	8ページ目…緊急災害時の連絡先一覧
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 体験指導者をしているが、どのような事に注意すれば良いか分からない
- インストラクターとして、旅行者に喜ばれるサービスがしたい

⑦農業体験ガイド(インストラクター)研修

農山漁村滞在型旅行において旅行者に喜ばれる観光コンテンツを作り上げるためには、地域資源の魅力を引き出し、旅行者にその魅力を感じてもらう案内役&演出家であるインストラクターの存在が不可欠です。

この研修では、複数回の研修を通じて、インストラクターの役割を理解するとともに、ワークショップで具体的な事例を活用しながら、インストラクターとしての技能を磨くことを目的としています。

研修(イメージ)



所要時間	2.5時間(1回)
金額	応相談
対象	10人～20人
内容	講義とワークショップを組み合わせで実施 (1) インストラクターの役割 (2) 体験指導の方法 (3) インストラクターの話し方 (4) インストラクターの責任と法律
成果	研修受講者は、体験指導者としての役割、責任を理解するとともに、旅行者に対する接し方について理解が深まります。
注記	・2日間で集中的に研修を受講することにより効果が高まります。 ・実際に体験指導をする方、もしくは近く体験指導者になる方が参加されることを強くお勧めします。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 新型コロナ感染症対策、今できることで備えたい
- ガイドラインの活用と事例紹介

⑧感染症対策等研修会

Withコロナを見据え、事業者で提供するサービスの場面ごとに基本的対応と具体的な感染予防を検討し、実践することが求められています。本研修では、農家民宿事業者向け、自然体験・教育旅行事業者向けに新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインとチェックリストの作成について学びます。

4. 場面【農園】



事例紹介(イメージ)

所要時間	2時間(質疑応答含む)
金額	応相談
対象人数	30人
内容	(1)感染症防止対策の正しい理解 (2)基本的対応と具体的に実践できる感染予防 (3)業態別対策とガイドラインを活用した企画 実施の事例紹介 (4)ガイドライン作成に必要なポイント (5)ガイドライン策定と運用の必要性 (6)チェックリストの作成
研修成果	事業計画の策定を目指します。
注記	• 座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。 • 集合研修、個別研修いずれでも対応できます。 • 密度の高い計画を立てる場合は、地域内のコアなメンバーで開催されることをお勧めします。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 農泊をビジネス化を前提に進めたい
- どのように収支計画を策定すれば良いか分からない

⑨事業計画策定研修

農泊に地域ぐるみで取り組んでいくためには、地域の中心的な役割を担う中間支援組織のビジネス化が重要です。

この研修では、今後の組織の事業計画を作成することで、農泊地域づくりについて実践的に学ぶことができる内容となっています。

地域の農泊事業の「目標・ビジョン」と目標達成時に地域が備えているべき「機能や役割」を洗い出し、地域が目標に向けて取り組む活動スケジュール、事業予算や年度別目標値の設定等、事業計画を見える化する手法をワークショップで習得します。

研修(イメージ)



所要時間	2時間 x 3回
金額	応相談
対象人数	5人～10人
内容	全てワークショップ形式 (1) 地域リーダーのあり方 (2) 地域ビジョンの策定 (3) 取組戦略 (4) 取組戦術(目的分析・活動スケジュール) (5) 収支計画表
研修成果	事業計画の策定を目指します。
注記	● 座学を交えながら、ワークショップを中心に実施します。 ● 集合研修、個別研修いずれでも対応できます。 ● 密度の高い計画を立てる場合は、地域内のコアなメンバーで開催されることをお勧めします。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- ・農家民宿・民泊の開業の仕方が分からない
- ・宿泊者へのおもてなしの仕方を知りたい

10農家民宿・民泊の開業・受入研修

農山漁村滞在型旅行では、地域にある多様な宿泊施設と回遊型の体験コンテンツの充実が必要不可欠となります。地域に何度も訪れていただきピーターの獲得に向け、交流を介した様々なプログラムでおもてなすことが重要です。

この研修では、農家民宿・民泊での宿泊おける交流に関する事例を紹介すると共に、開業に至るまでの一連のプロセスを学んでいきます。

開催(イメージ)



所要時間	2時間(質疑応答含む)
金額	応相談
対象人数	10人～30人
内容	(1) 農家民宿・民泊をとりまく情勢 (2) 旅館業法と民泊新法の違い (3) 開業に向けたポイント (4) 宿泊者との交流
研修成果	農家民宿・民泊の開業までの手続きを理解することができます。事例を通じて、お客様との交流のイロハを知ることができます。
注記	・ 開業の手続きなど、具体的な対応方法についての講義は行いません。 ・ 県・市町村の条例等により、開業手続きが異なる場合がございます。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 地域の隠れた観光資源を見つけ出す方法が知りたい
- 地域の観光資源を整理したい【地域資源リストの作成】

⑪コンテンツ開発研修 地域資源発掘編

受入地域に多くの旅行者を呼び込むために、受入地域は地域資源を発掘し、これを魅力ある観光コンテンツとして磨き上げることが求められています。

この研修では、受入地域の関係者による参加型ワークショップを通じて地域に隠された観光資源を洗い出し、その地域資源を整理する方法を学びます。

地域資源リスト(イメージ)

[illegible]

所要時間	2～3時間
金額	応相談
対象人数	10人～20人
内容	(1) 地域資源とその整理の方法 (2) 事例紹介 (3) 季節別・対象別等、観光資源の抽出と仕分け (4) グループワーク
研修成果	研修終了後には、「地域資源リスト」が出来上がります。
注記	- ワークショップの時間内には成果品は出来上がりません。研修参加者が課題を確実にこなすことが必要です。 - 地域資源の発掘は、1回の研修だけで完成するわけではありません。継続的に、研修を活かして地域内で同様の研修を自主的に実施することによって、地域の観光資源を豊かにすることが望めます。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 地域の観光資源を使って独自性のある体験メニューを作りたい
- 魅力的な体験メニューの作り方を知りたい【体験メニュータリフの作成】

⑫コンテンツ開発研修 体験メニュー開発編

受入地域に旅行者を呼び込むためには、個々の地域資源を磨き上げることが大切です。

この研修では、受入地域の関係者による参加型ワークショップを通じて、地域資源リストを元に各体験メニューのタリフを作り上げるプロセスを学びます。

体験メニュータリフ(イメージ)

プログラム情報シート				
プログラム名	体験えさやり体験			
プログラムの説明	その地をよく見たことはありますか？その地が美しいことは知っているでしょうか？目の前で動物を見ることが出来るので、動物たちの顔を見てみるのがえさやり体験ができます。			
体験可能期間	通年			
実施場所	動物広場			
所要時間	15分			
開催時間	個人	9:00～開園30分前	団体	9:00～開園30分前
料金	個人	1カップ100円	団体	1カップ100円
最少参加人数	個人		団体	20名
最大参加人数	個人		団体	100名(入替り)
予約可能日	個人	○ ①当日 ②前日まで ③3日前まで ④5日前まで ⑤ 日前まで	団体	○ ①当日 ②前日まで ③3日前まで ④5日前まで ⑤ 日前まで
注意事項(持ち物・服装等)	ペットスエア入場は別途(大人300円、4歳～中学生まで200円)			
年齢制限	幼児は保護者同伴			
対応可能言語	日本語			
プログラムの流れ	エサを持つ→動物広場まで移動→エサやり			
写真(イメージ)				

所要時間	合計2時間
金額	応相談
対象人数	10人～20人
内容	全てワークショップ形式 (1) 地域資源リストからタリフ化するメニューの抽出 (2) タリフ作成のポイント(ネーミング・コンセプト・値付けなど) (3) タリフ作成ワークショップ (4) ワークショップ講評 (5) 実地踏査の必要性
研修成果	研修終了後には、「体験メニュータリフ」が出来上がります。
注記	• 地域資源発掘編から継続受講が望ましいです。 • ワークショップ終了後、実地踏査することによって、研修成果品を最終化することが望めます。 • 研修では、サンプルとして最大4本のツアーを造成できます。研修終了後、受入地域において継続的に、研修を活かして対象者別、季節別の体験プログラムを作り続けることが望めます。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 地域の観光資源を使って独自性のある滞在プログラムを作りたい
- 魅力的な滞在プログラムの作り方を知りたい【滞在プログラムの作成】

⑬コンテンツ開発研修 ターゲット別滞在プログラム開発編

受入地域に旅行者を呼び込むためには、地域の観光資源を活用して、魅力ある滞在プログラムへと磨き上げることが必要です。

この研修では、受入地域の関係者による参加型ワークショップを通じて、ターゲットとする旅行者に応じた滞在プログラムを作り上げるプロセスを学びます。

滞在プログラム(イメージ)

【個人向け】かなみ農泊 体験型モデルコース（1日）

○鑑定申請：無料
○鑑定人員：2～9名様
○対象：家族、夫婦、カップル 全世代対応可
○参考料金：
月見天宮 天文台本館・フナネメウム 大人①1000円/小・中学生②500円
龍泉王国ラフツェ 食事①1,300円～(※BBQ②1,600円 子供③1,200円)
有様休館③500円～(※アイスクリーム作り④名分1,050円)
道十アヒャンなみ 入館料(明証証)で大人①700円、子供②300円
○その他：

時刻	番組	内容	備考
18:00 ～ 11:00	月見大忘言	①露伴が、プラタニウム ②歴上からの富士山朝景	
移動中		音楽	
11:30 ～ 12:00	解謎屋 ボラッテ	①音楽・バーベキュー(70分) ②探偵・アメリカリムラン(150分) ③実物・新島直幸サタチエ(30分)	 
移動中		音楽	
14:20 ～ 15:00	道の駅・刈野駅 伊豆リゾートウェイ開 業	①夏物 ②水遊び 等	
移動中		音楽	
15:45 ～ 17:00	満〜アド かんゾク	温泉入浴	

所要時間	合計2時間
金額	応相談
対象人数	10人～20人
内容	全てワークショップ形式 (1) 対象とする旅行者層とテーマの特定 (2) 地域資源の選択と体験メニューの造成 (3) 体験メニューの組み合わせによるツアー行程表の作成 (4) ツアー現地費用の概算 (5) ワークショップ講評 (6) 実地踏査の必要性
研修成果	研修終了後には、「行程表(案)」と「現地概算費用(案)」が出来上がります。
注記	・ 地域資源発掘編から継続受講が望ましいです。 ・ ワークショップ終了後、実地踏査することによって、研修成果品を最終化することが望めます。 ・ 研修では、サンプルとして最大4本のツアーを造成できます。研修終了後、受入地域において継続的に、研修を活かして対象者別、季節別の体験プログラムを作り続けることが望めます。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- ワークショップで作った体験プログラムの有効性を確認したい
- プロモーションのための素材を収集したい

⑭コンテンツ開発研修 モニターツアー

各種ワークショップにより机上で造成された観光コンテンツを、モニターツアーを実施することで受入体制や役割分担、収益性等の有効性が検証できることに加えて、旅行者のニーズを把握することができます。

また、モニターツアーの様子を画像や動画で記録することで、今後のプロモーションツールとして利活用することもできます。

加えて地域のモチベーションを上げる効果も期待できます。

モニターツアー（イメージ）



所要時間	体験プログラムにより必要な時間は異なります。
金額	体験プログラムにより必要な経費は異なります。
対象人数	5人～
内容	(1) プログラムへの事前アドバイス (2) 受入体制・役割分担の事前確認 (3) 集客支援 (4) 当日の運営支援 (5) モニターツアーの評価・分析と提案
研修成果	・受入にあたっての運営表の作成 ・お客様への案内文書の作成 ・アンケートの作成と集計、分析と提案
注記	・ターゲット、提供プログラム、集客方法、運営方法等により、内容・ご予算等のご相談に応じます。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 教育旅行を誘致したいのでノウハウを学びたい
- 教育旅行を誘致するためのプログラムづくりをしたい

⑮教育旅行向けプログラム開発研修

教育旅行の受入は、持続的な地域の活性化と協議会のビジネス化を目指す上で、極めて有効な手段です。

また、子どもの農林漁業体験活動を推進する法案の施行が期待され、改めて注目される分野です。

この研修では、教育旅行のトレンドやニーズを学び、学校への提案・営業および誘致につなげることを目的に実施します。

研修(イメージ)



教育旅行研修会

近郊の周辺地域では、首脳を中心とする教育旅行の需要があり、関心を受けられています。
近郊にある体験プログラムは、教育旅行にも十分に提案できる素材であり、今後の誘致に可能性が広がります。
今回の研修では、教育旅行のトレンドやニーズを学び、学校への提案・営業および誘致につなげることを目的に実施します。

日時 2019年 2月8日(土) 9:30-12:00
場所: 西宮市農村環境改善センター 農事研修室

参加無料 テーマ(予定)「教育旅行のトレンドとニーズの把握・提案・営業と誘致に向けて」

講師 菅野 佳治 氏
株式会社農協観光 地域交流推進課 課長代理
JAグループの全国協議会を結成して「グリーンツーリズム」推進を目的とした教育旅行事業を展開。近郊地域の活性化、観光客の受け入れ、農産物の販売の促進、食農教育の普及などを手掛けてきました。
現在は、食と農を基盤とした地域の観光振興や観光客へのサービスを手付け、新たな交流の創出による地域活性化事業に従事しています。

所要時間	2～3時間(質疑応答含む)
金額	応相談
対象人数	10人～20人
内容	全てワークショップ形式 (1)教育旅行のトレンドとニーズの把握 (2)提案・営業の進め方 (3)体験メニューの組み合わせによるツアー行程表の作成 (4) ツアー現地費用の概算 (5) ワークショップ講評
研修成果	研修終了後には、「ツアー行程表(案)」と「ツアー現地概算費用(案)」「企画提案書」が出来上がります。
注記	• 地域の体験メニューが既に整理されていることが望ましいです。 • ワークショップ終了後、ご希望により実地踏査を実施します。(有償) • 研修では、サンプルとして最大2本のモデルコースを造成できます。研修終了後、受入地域において継続的に、研修を活かして対象別・季節別の体験プログラムを作り続けることが望まれます。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 法人企業を誘致したいのでノウハウを学びたい
- 法人企業を誘致するためのプログラムづくりをしたい

①6 法人企業向けプログラム開発研修

法人企業の受入は、地域の活性化と協議会のビジネス化を目指す上で、極めて有効な手段です。

昨今はワーケーションの気運が高まり、多様なニーズ・ターゲットに合わせたプログラムの開発が必要とされます。

この研修では、法人企業のトレンドやニーズを学び、法人企業への提案・営業および誘致につなげることを目的に実施します。

研修(イメージ)



所要時間	2～3時間(質疑応答含む)
金額	応相談
対象人数	10人～20人
内容	全てワークショップ形式 (1) 法人企業のトレンドとニーズの把握 (2) 提案・営業の進め方 (3) 体験メニューの組み合わせによるツアー行程表の作成 (4) ツアー現地費用の概算 (5) ワークショップ講評
研修成果	研修終了後には、「ツアー行程表(案)」と「ツアー現地概算費用(案)」「企画提案書」が出来上がります。
注記	• 地域の体験メニューが既に整理されていることが望ましいです。 • ワークショップ終了後、ご希望により実地踏査を実施します。(有償) • 研修では、サンプルとして最大2本のモデルコースを造成できます。研修終了後、受入地域において継続的に、研修を活かして対象別・季節別の体験プログラムを作り続けることが望まれます。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 関係人口創出のための一手法として農村婚活を検討したい
- 地方創生の一環で移住定住を見据え農村婚活を実施したい

⑪関係人口づくりのための婚活プログラム研修

地方創生の一環で、地域の人口減少・少子化対策や関係人口構築のための一手段として婚活が注目されています。

この研修では、婚活の開催を検討される方々に向けて現状やポイント、留意点等を事例紹介を踏まえてお伝えし、実施に向けたプログラム構築のためのワークショップを行います。

ご要望に応じて、実際の運営支援や外部講師を招いたロジカル講座やテクニカル講座にも対応できます。

開催(イメージ)



所要時間	2～3時間(質疑応答含む)
金額	応相談
対象人数	10人～20人
内容	(1) 農村婚活の現状 (2) 目指す姿(アプローチ方法など) (3) 運営上の注意点 (4) ワークショップ(地域に合わせた婚活プログラムの造成) (5) ワークショップ講評
研修成果	研修終了後には、「婚活プログラム」が出来上がります。
注記	• 地域の体験メニューが既に整理されていることが望ましいです。 • ワークショップ終了後、ご希望により運営支援や外部講師を招いた講座にも対応できます。(有償) • 研修では、実践に向けて、地域に合わせた婚活プログラムをつくります。
窓口	(一社)全国農協観光協会



- 6次化商品の新規開発・改善をしたい
- 食事メニューの新規開発・改善をしたい

⑮ 6次化 商品開発・マーケティング・プロモーション

各産業間の連携による農村の活性化や農業経営の多角化のキーワードとして「6次産業」ということばが注目されています。農業本来の第1次産業だけでなく他の第2次・第3次産業を取り込み付加価値をつくることをご支援します。

商品の販売について悩んでいる等 確かな商品づくり、専門家の目でコンサルや研修会への、専門アドバイザーを派遣し。講師派遣などで商品開発支援を行います。

また通販事業を中心としたサポートも実施できます。

所要時間	プログラムにより必要な時間は異なります。
金額	プログラムにより必要な経費は異なります。
対象人数	1人～
内容	(1)商品開発 (2)食事メニュー開発 (3)マーケティング支援 (4)プロモーション支援
研修成果	食に関するコンテンツの開発や販路拡大に繋がります。
注記	・ 食品加工者、調理人、農泊経営者、地域コーディネーター等、地域の様々な受入実践者の方にお勧めです。 ・ 外部講師と連携して対応します。
窓口	(一社)全国農協観光協会

開催(イメージ)



- ハラルやベジタリアン等、食の多様化に関する知見を深めたい
- まずは一步から、食の多様化に対応した食事メニューの開発をしたい

①9 フードダイバーシティ研修・メニュー開発

世界的なムスリム人口の増加によるハラル対応の必要性、健康や環境等に対する意識の向上によるベジタリアン・ヴィーガン志向の高まり、またアレルギー対応を含め、食の多様化（フードダイバーシティ）への取組は、SDGsの観点も踏まえ、もはや不可欠な分野となりつつあります。

本研修では、この分野に精通した専門家を通じ、「一步から始められる」分野であることを前提に、体系的な知識から、豊富な事例を通じた実践対策（推進のポイント・留意点等）まで、画像を交えながら分かりやすく解説します。

既存メニューのアレンジメントを主とした食事メニューの開発についてもご相談を承ります。

所要時間	プログラムにより必要な時間は異なります。
金額	プログラムにより必要な経費は異なります。
対象人数	10人～
内容	(1)研修会 (2)食事メニュー開発 (3)プロモーション支援
研修成果	ダイバーシティに関する体制整備やメニュー開発を通じた販売拡大に繋がります。
注記	• 食品加工者、調理人、農泊経営者、地域コーディネーター等、地域の様々な受入実践者の方にお勧めです。 • 外部講師と連携して対応します。
窓口	(一社)全国農協観光協会

開催(イメージ)



- ・訪日外国人を誘致したいのでノウハウを学びたい
- ・訪日外国人を誘致するためのプログラムづくりをしたい

②0 訪日外国人向けプログラム開発研修

訪日外国人の受入は、地域の国際化と協議会のビジネス化を目指す上で、一つの有効な手段です。

今後も需要の高まりと合わせて、地方での体験ニーズへの期待も注目される分野です。

この研修では、訪日外国人市場のトレンドやニーズを学び、情報発信・営業および誘致につなげることを目的に実施します。

研修(イメージ)



インバウンド研修会

2020年のオリンピック・パラリンピックの開催を控え、訪日外国人数が飛躍的に伸びています。
市町村にある体験プログラムは、訪日外国人にも提案できる観光資源として可能性を持っています。
今回の研修では、インバウンドのトレンドやニーズを学び、訪日を取り扱う旅行会社等への提案・営業および誘致につなげることを目的に実施します。

日時 2019年 3月1日(金) 9:30~12:00

場所 函南町 農村環境改善センター 農事研修室

参加費 無料(予定)「訪問者のニーズに合わせた体験プログラムの造成と販売」

講師 林 雄司 氏 株式会社農協観光 国際交流センター センター長
2015年から国際交流センターにて、世界各国(主に欧米系・アジア)の旅行会社や国内訪日ランドオペレーターと提携し、インバウンド事業を推進しています。
また、地方自治体と連携した農村地域へのインバウンド誘致や、地域における観光や体験メニューなどのインバウンド向け商品の造成や販売を支援しています。
JA全農観光推進委員会 委員、JAの農人・農市民関係機関観光客受け入れ推進協議会 理事

所要時間	2～3時間(質疑応答含む)
金額	応相談
対象人数	10人～20人
内容	全てワークショップ形式 (1)訪日外国人旅行のトレンドとニーズの把握 (2)提案・営業の進め方 (3)体験メニューの組み合わせによるツアー行程表の作成 (4)ツアー現地費用の概算 (5)ワークショップ講評
研修成果	研修終了後には、「ツアー行程表(案)」と「ツアー現地概算費用(案)」が出来上がります。
注記	・地域の体験メニューが既に整理されていることが望ましいです。 ・ワークショップ終了後、ご希望により実地踏査を実施します。(有償) ・研修では、サンプルとして最大2本のモデルコースを造成できます。研修終了後、受入地域において継続的に、研修を活かして対象別・季節別の体験プログラムを作り続けることが望まれます。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- 訪日外国人を受入れたことがなく、不安である
- 訪日外国人へのおもてなしの仕方を知りたい

②1 訪日外国人観光客へのホスピタリティサービス

政府が薦める『訪日旅行促進事業（ビジットジャパン事業）』の一環として、外国人観光客の需要拡大策と連動・対応するため、本研修では外国人観光客の現状分析と顧客志向を把握し、宗教・習慣などの異文化理解の必要性を具体的にお伝えすると共に、来日する外国籍のお客様に『日本人のおもてなしの心』を表現するためのスキル習得と、サービス向上に向けての意識改革と設備改善の必要性を学んでいきます。

所要時間	3時間（質疑応答含む）
金額	応相談
対象人数	10人～50人
内容	(1) 誤解されやすい日本人の行動の紹介 (2) 宗教・文化の違う様々な外国人のお客様の知識習得 (3) 外国籍のお客様に対応するための取組み成功例 (4) おもてなしの心で顧客感動を導くための今後の取組み
研修成果	訪日外国人観光客を受入れる際の留意点について理解が深まります。
注記	・ 農泊経営者、地域コーディネーター、接客実務担当者等、地域の様々な受入実践者の方にお勧めです。
窓口	（一社）全国農協観光協会

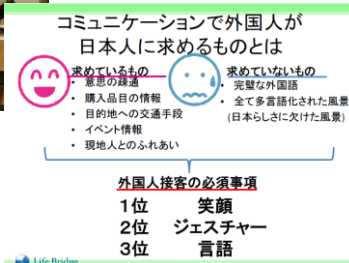
- ・訪日外国人を受入れたことがなく、不安である
- ・訪日外国人へ英語を使ったおもてなしの方法を知りたい

②外国人旅行者おもてなし研修・接客ロールプレイング

外国人のお客様を増やすため、従業員のスキルアップのための研修内容を「接客」に絞ることにより、英語が全く喋れない方でも独自の方法で2時間でネイティブ並になる方法を伝授します。

外国人客増加を目指す、飲食店、宿泊施設にお勧めです。

開催(イメージ)



所要時間	3時間(質疑応答含む)
金額	応相談
対象人数	10人～50人
内容	(1)外国人旅行者おもてなし研修 (2)接客ロールプレイング
研修成果	訪日外国人観光客を受入れる際のモチベーションアップにつながります。
注記	・ 農泊経営者、地域コーディネーター、接客実務担当者等、地域の様々な受入実践者の方にお勧めです。 ・ 外部講師と連携して対応します。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- ファムトリップを通じてターゲットのニーズをつかみたい
- ファムトリップを通じてターゲットとなる人たちとネットワークを築きたい

②③ ファムトリップ

完成度を高めた滞在コンテンツを訴求していくためには、ターゲットとなる対象の人たちのニーズを把握する必要があります。

また、販路を拡大するために、ネットワークを構築することも重要です。

ファムトリップを通じたプロモーションをご支援します。

ターゲットイメージ：マスコミ、旅行会社（インバウンドや教育旅行の担当者など）、法人企業、インフルエンサー 等

※誘客についてはご相談対応のみの場合あり

ファムトリップ(イメージ)



所要時間	滞在プログラムにより必要な時間は異なります。
金額	滞在プログラムにより必要な経費は異なります。
対象人数	5人～
内容	(1) プログラムへの事前アドバイス (2) 受入体制・役割分担の事前確認 (3) 集客支援 (4) 当日の運営支援 (5) ファムトリップの評価・分析と提案
研修成果	・受入にあたっての運営表の作成 ・お客様への案内文書の作成 ・アンケートの作成と集計、分析と提案
注記	・ターゲット、提供プログラム、集客方法、運営方法等により、内容・ご予算等のご相談に応じます。
窓口	(一社)全国農協観光協会

- ・インターネットやSNSを活用した情報発信の手法を学びたい
- ・具体的にインターネットやSNSの運用を始めたい

②4 ICT・SNS活用研修

農家民宿・民泊や食事施設、各種体験プログラム等の地域のコンテンツや協議会の情報を発信する上で、ICTの活用は不可欠といえます。

この研修では、ご希望に合わせて、ICT全般の情勢や活用手法から、SNSを含めた各種ツールによるフォロワー獲得等、具体的な運用方法まで学んでいただくことができます。

開催(イメージ)



所要時間	2時間(質疑応答含む)
金額	応相談
対象人数	10人～30人
内容	(1) ICTをとりまく情勢 (2) ICTの運用方法 (3) SNSの特徴とフォロワー獲得のポイント 等
研修成果	ICT全般の情勢や知識を学ぶことができます。また実際の運用方法を知ることによってSNS等のフォロワー獲得のポイント等を学びます。
注記	・ WEBサイトやSNSの新規開設やリニューアルのご相談にも応じます。 ・ 外部講師と連携して対応します。
窓口	(一社)全国農協観光協会



- インターネットやSNSを開設・リニューアルしたい
- パンフレットや紙媒体を作成したい

②5情報発信ツール作成

地域への誘客を促進するプロモーションには、多種多様な方法があります。インターネットやSNSの開設、動画制作、紙媒体等、地域のニーズとターゲットに合わせた有効なツール作成サポートいたします。

ツール(イメージ)



金額	ご相談内容に応じてご案内します。
内容	(1)WEBサイト開設・リニューアル (2)SNS開設・リニューアル (3)動画制作 (4)資材の作成(多言語パンフレット含む)
研修成果	地域コンテンツの販路拡大に繋がります。
注記	• 食と農をテーマとしたイベント企画・運営やツアー企画・営業代行、海外プロモーション等のご相談にも応じます。 • ご当地じゃらん制作等、出版案件に関するご相談にも応じます。 • 複数の外部専門機関と連携して対応します。
窓口	(一社)全国農協観光協会



- 数か月単位で業務支援をしてほしい
- 年単位で伴走的・専門的な人財支援をしてほしい

②⑥ スタッフ・専門家派遣

地域の農泊協議会等が抱える課題の多くは、人財確保や人財育成に係るケースが年々多くなっています。

弊会では、短期から中期にかけて、ご要望に合わせたスタッフ・専門家派遣のご相談に応じます。

○支援例 A 支援型

・短期的(数か月単位)な業務支援を行います。

○支援例 B 伴走型

・短期から中期(数か月から年単位)での業務支援を行います。(一部専門的アドバイス)

○支援例 C 牽引型

・短期から中期(数か月から年単位)での業務支援を行います。(専門的アドバイス)

金額	ご相談内容に応じてご案内します。
内容	(1) ピーク期における業務の短期支援 (2) 事業のスタートアップ時やステップアップ時における伴走的または専門的な支援 (3) 協議会等における次世代の人財育成の支援
成果	協議会等の持続的な発展に寄与します。
注記	・期間やご予算は都度、ご相談に応じます。 ・国や自治体の予算を活用するケースを想定します。 ・関連団体と連携して対応する場合があります。 ・繁忙期等の理由によりご要望に応じられない場合があります。
窓口	(一社)全国農協観光協会

受入地域の体制整備支援プログラム のお申込みにあたって

1. 研修費用

(1)費用に含まれるもの、講師料・研修教材等

(2)会場費・講師交通費・宿泊費(実費)等は、別途ご負担願います。

(3)ご案内のプログラム以外のオーダーメイド研修については、別途、講師等のご相談を受け承ります。

※ご紹介した講師へのお支払いは直接、研修講師へお願いいたします。

2. 研修時間 各研修によりとなります。

3. 研修会場 主催者指定会場になります

4. 研修方法 主催者指定方法になります レイアウト/スクール形式

5. 受講者数 各研修により異なります。

6. 申込手順 (1)研修(講師)の依頼⇒(2)日程の調整(第3希望まで連絡)⇒(3)ご回答

◆ 研修会の詳しいお問い合わせは、

○一般社団法人全国農協観光協会 【担当：前場・安田】

住所 : 〒101-0021 東京都千代田区外神田1-16-8 Nツアービル4 F

電話 : 03-5297-0323 FAX : 03-5297-0260 E-Mail : zennoukan@i-znk.jp